

株式会社千趣会 第64期決算説明会

2009年1月29日

 株式会社千趣会

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

1. 2008年度連結業績について
2. 中期経営計画(2008年～2010年)進捗状況
3. 2009年度連結業績予想
4. 参考資料

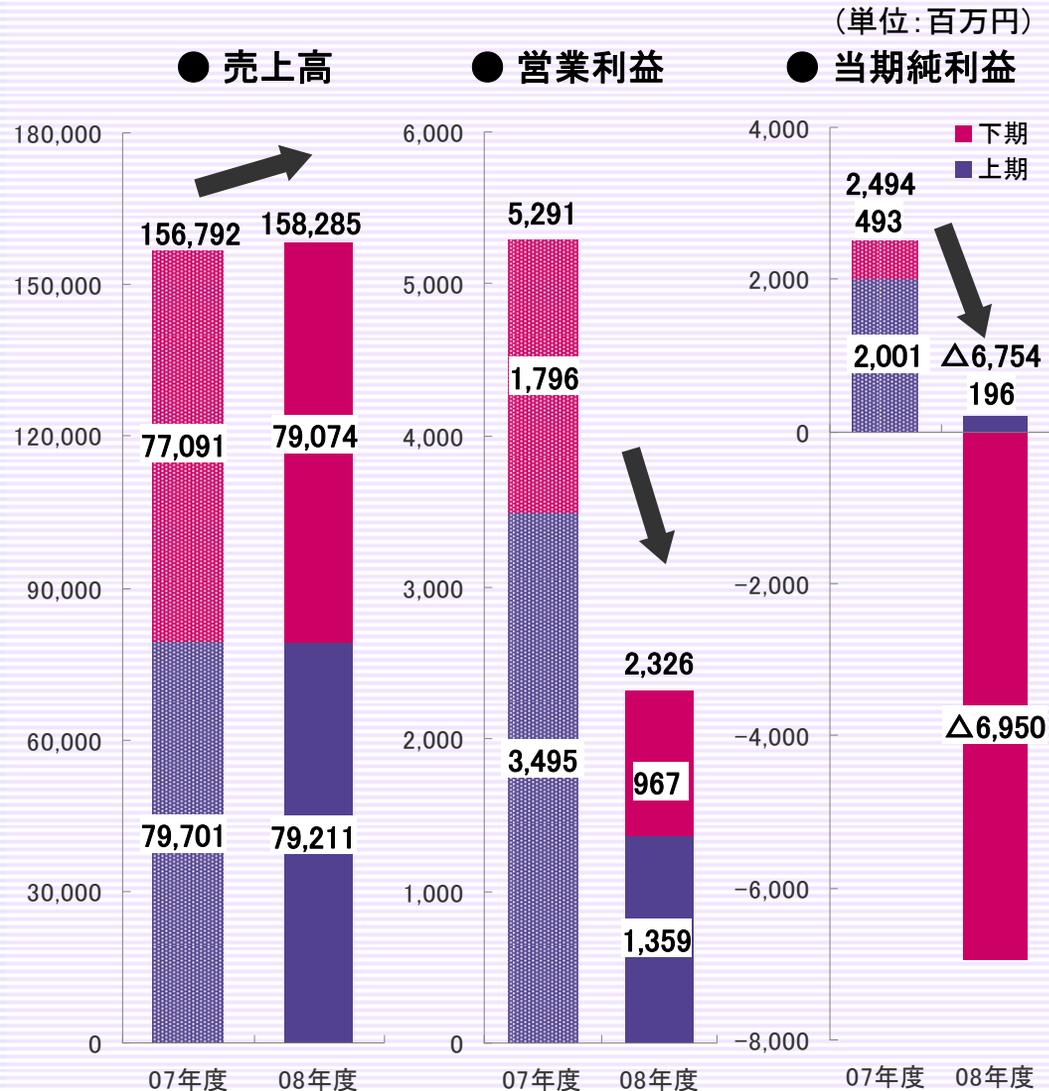
1. 2008年度連結業績について

2008年度連結決算のポイント

- 売上 1,582億円
- 営業利益 23億円
- 当期純利益 $\Delta 67$ 億円

* ()は前期比増減(%)

- 売上は消費冷え込みあるも前年比微増を達成
- 営業利益は用紙値上げによるカタログ費用増や一時的な販管費増に伴い減少
- 当期純利益は為替差損等及びヘッジ終了損等の特別損失もあり大幅マイナス



2008年度決算期連結決算損益(対前年比較)

(単位:百万円)

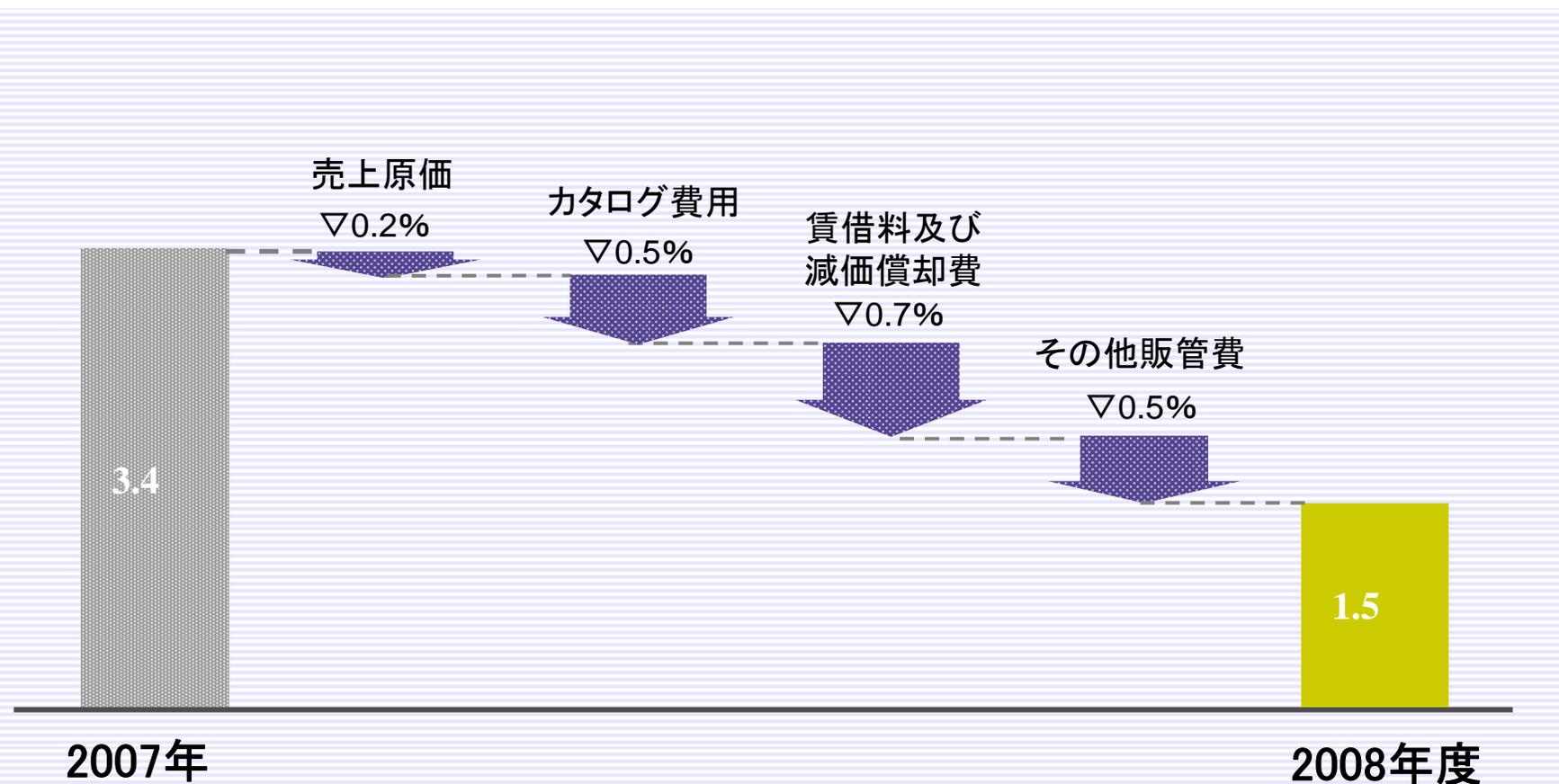
	2007年度	売上比	2008年度	売上比	差額	対前年 増減率
売上高	156,792	-	158,285	-	+1,493	+1.0%
売上原価	80,864	51.6%	81,999	51.8%	+1,134	+1.4%
売上総利益	75,928	48.4%	76,286	48.2%	+358	+0.5%
販管費	70,637	45.0%	73,960	46.7%	+3,322	+4.7%
営業利益	5,291	3.4%	2,326	1.5%	△2,964	△56.0%
経常利益	5,626	3.6%	△742	△0.5%	△6,368	-
当期純利益	2,494	1.6%	△6,754	△4.3%	△9,249	-

■ 売上は、9月迄は順調に推移。10月以降減少するも、前年比1.0%増

2008年度決算期連結貸借対照表(対前年比較)

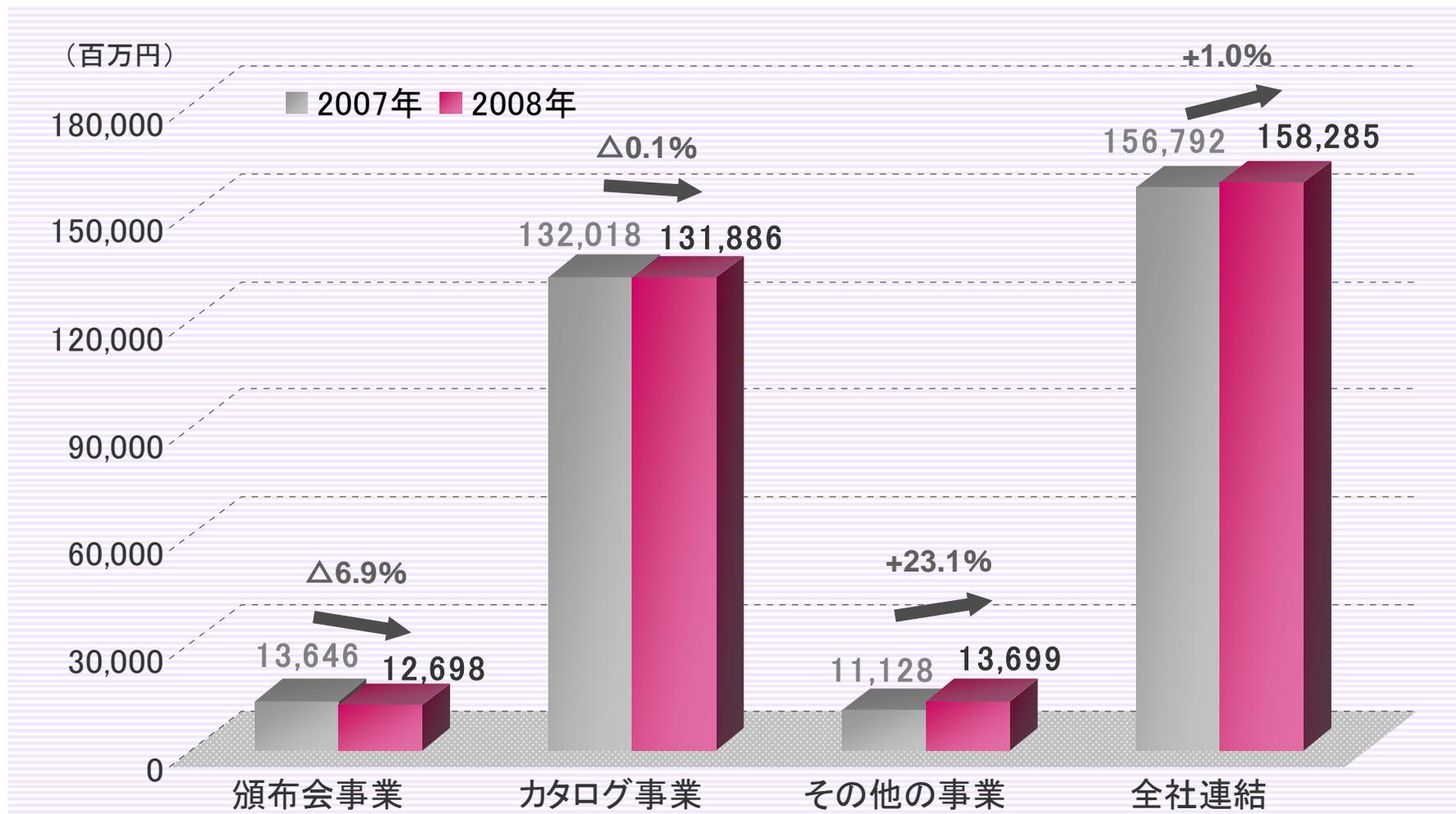
科目	07/12末	08/12末	増減額	コメント (単位:百万円)
【資産の部】				
流動資産	48,224	49,998	1,774	たな卸資産:在庫削減政策推進、未収入金:10月以降の売上減少、現預金:増
固定資産	50,197	54,060	3,863	建物:新本社建設、投資有価証券:保有株式株価下落、のれん:ディアーズ・ブレイン株式追加取得
資産合計	98,422	104,059	5,637	
【負債の部】				
流動負債	41,175	54,073	12,898	為替予約:円高進行、短期借入金:運転資金借入、支払手形および買掛金:在庫削減・ファクタリング移行等
固定負債	1,291	5,631	4,340	設備資金借入
負債合計	42,466	59,705	17,239	
【純資産の部】				
株主資本	63,020	54,909	△8,110	当期純損失計上
評価・換算差額等	△7,074	△10,584	△3,509	有価証券評価差額金及び繰延ヘッジ損益の影響
少数株主持分	10	29	18	
純資産の部合計	55,955	44,354	△11,601	
負債・純資産合計	98,422	104,059	5,637	

対前年営業利益率推移



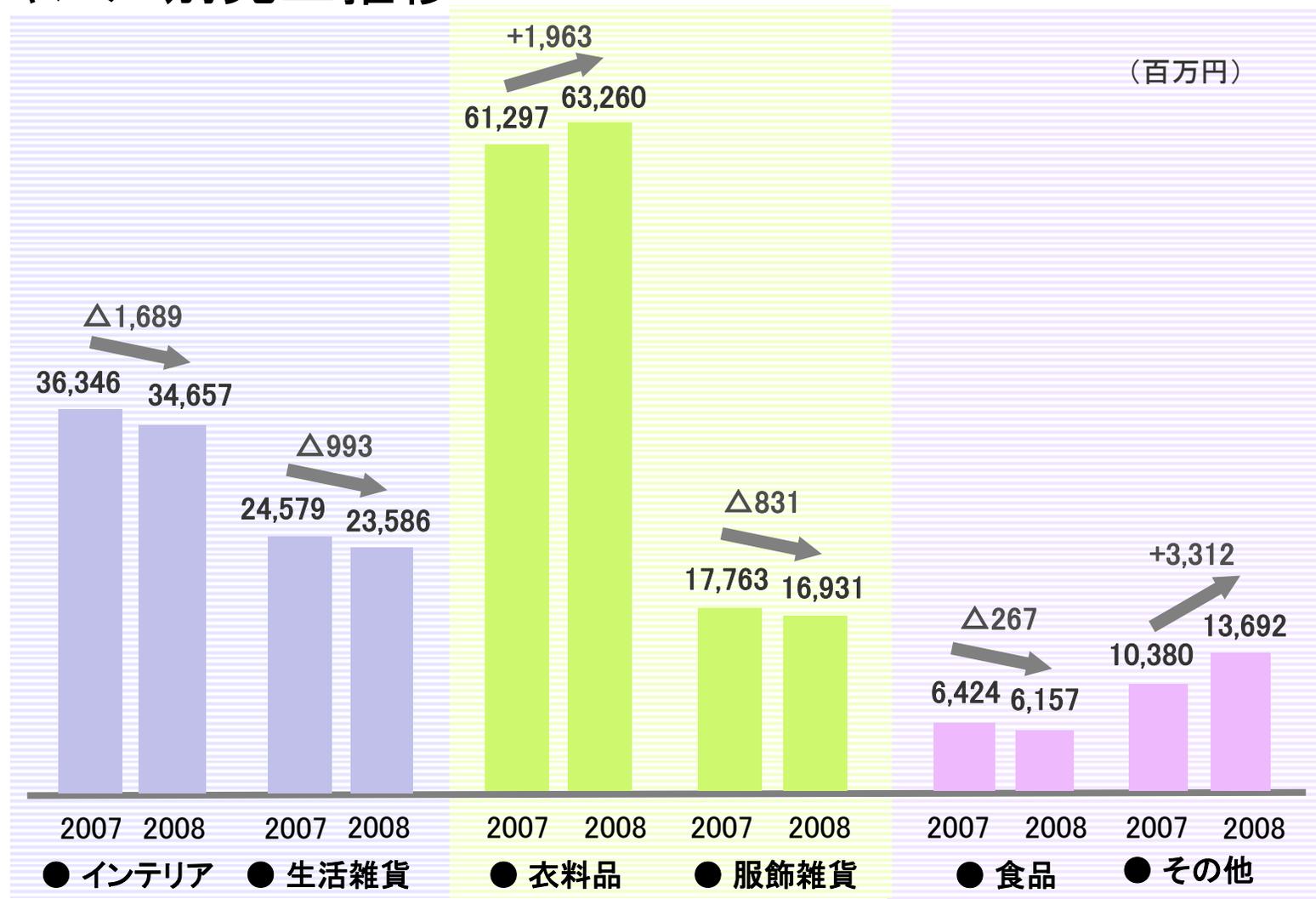
- 売上原価率の上昇及びカタログ用紙価格上昇による印刷費増と、東京本社、新本社ビル及びシステム関連による賃借料と減価償却費増により営業利益率減。

2008年度セグメント別売上高(対前年比較)



■ その他の事業は、ディアーズ・ブレインの下期からの連結子会社化により増加

ジャンル別売上推移

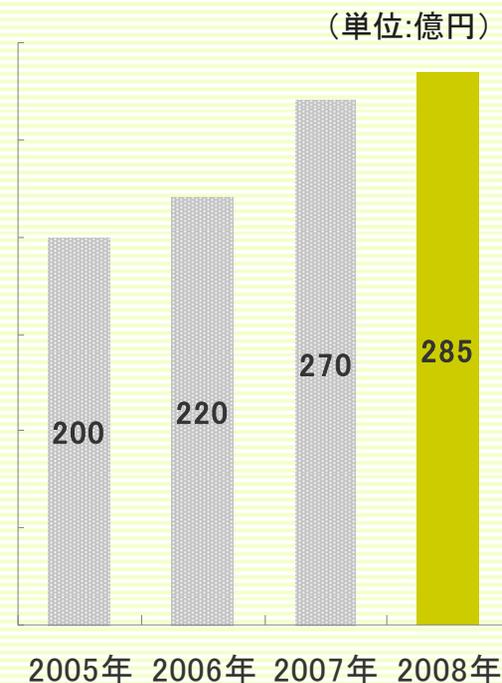


■全体として減少傾向だが、衣料品は「暮らす服」の好調により増加。

カタログ事業の現状

	2007年	2008年	差異
売上 (百万円)	132,018	131,886	△132
年間購入者数	380万人	387万人	+7万人
1件当たり 受注単価	13,197円	12,953円	△244円
年間注文回数	2.85回	2.90回	+0.05回
カタログ部数 (万部)	9,650	9,500	△150

●「暮らす服」売上推



- 新規獲得会員増及び継続率アップにより年間購入者数は7万人増加
- 受注単価は、ネット受注増により減、受注頻度は上昇
- 「暮らす服」好調続く
2008年度売上約285億円、新規会員・復活会員の獲得にも貢献

頒布会事業の現状

- 去年は新たに商品を54点开発いたしました



調味料ごとの
レシピ本
▼「魔法の一



▲
「マグパティ」
簡単に作れる
スイーツの素



ケータイできる3種類の
ドライフルーツ
「果実のとりこ」▶



- 会員減少傾向続く

- 頒布会事業の再構築

職域設置BOX(ちよこたべBOX)
事業推進中

12月末現在 約21,000BOX
内、約65%が頒布会未入会事業所
今後、頒布会並びにカタログ
入会活動を開始



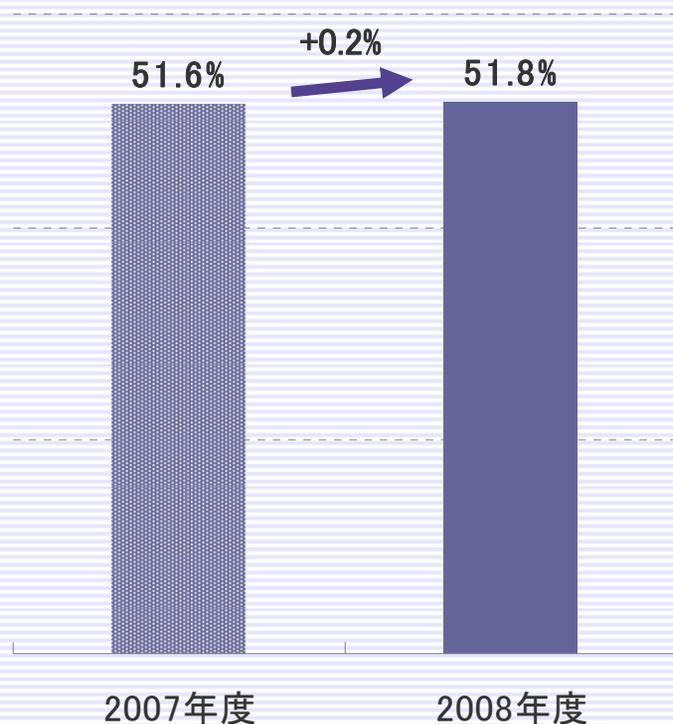
その他の事業の現状

売上高 (百万円)	2007年	2008年	差異
法人	6,383	6,315	△68
店舗 (アウトレット除く)	365	668	+303
ペットファースト	1,633	1,746	+113
ディアーズ・ブレイン	-	2,928	+2,928
その他	2,747	2,042	△705
合計	11,128	13,699	+2,571

- 店舗「暮らす服」ショップ新たに5店舗開店合計6店舗
- ペット事業売上増
- ディアーズ・ブレイン下期売上計上

売上原価率及び販管費増減の状況

● 連結売上原価率



- 頒布会事業 職域設置BOX増による原価率増
- カタログ事業 仕入制作費増・評価損増

● 連結販売管理費

(単位:百万円)



- カタログ用紙値上げによる印刷費増
- 連結子会社増加による人件費増
- 東京本社・店舗関連賃借料増
- 新ベルネシステム・新本社等による減価償却費増
- アフィリエイト・ロイヤリティ増による販売手数料増

営業外損益及び特別損益について

● 為替差損

2008年度決算においては年初に比べ、想定外の大幅な円高となりました。
この結果、約20億円の為替差損を計上することになりました。

● 複合金融商品評価損

日経平均株価の下落や円高の進行により、これらの指標を組み込んだ債券について
約13億円の評価損を計上いたしました。

● ヘッジ会計終了損

今回輸入計画の見直し等により、ヘッジ会計を終了し時価会計に移行いたしました。
この移行による損失をヘッジ会計終了損として特別損失を約46億円計上いたしました。
なお、一部の契約については既に解約しております。

■ 2009年度以降については、大幅な円高に推移しない限り、当社損益に与える影響
軽微であると見込んでおります。

2008年度下期トピックス I

千趣会・佐川急便ベルメゾンネットで
「CO2排出権付き飛脚宅配便」を導入



- お客様参加型のカーボンオフセットの取組です。
- お客様、当社、佐川急便が1円ずつ負担し、温室効果ガスの「マイナス6%」に貢献いたします。

ベルメゾン生活スタイル研究所
2009年幸せ予報「トクメキキ」消費時代発行



- 昨年に続き、30代女性の生活実態と今後の意識変化についてのレポートを発行いたしました。

2008年度下期トピックスⅡ

千趣会『ベネビス』、トヨタ「パッソ」との
コラボレーションによるオリジナルシューズが完成

- 「ベネビス」春夏号にて販売する他、全国のトヨタ
カローラ店でも展示しています。
今後も様々なコラボレーションにより、
ブランド価値を向上してまいります。



『暮らす服』ショップ
続々オープン！

- 「暮らす服」ショップの売上は順調に推移し、
2008年度は関西圏に5店舗オープンし
計6店舗になりました。

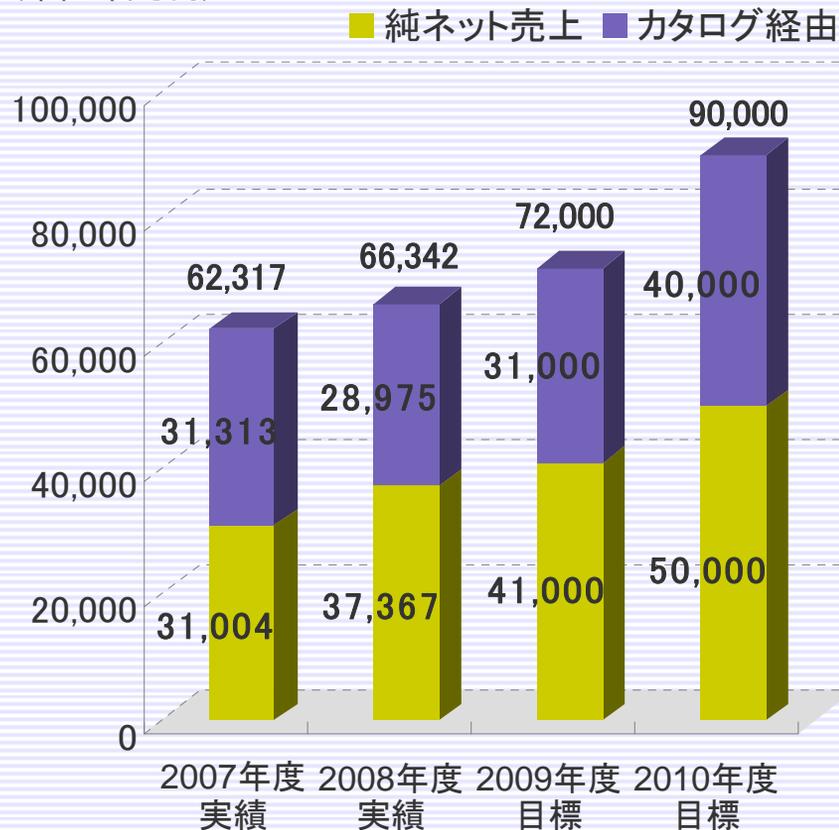


2. 中期経営計画(2008年～2010年)進捗状況

チャネルミックスの推進(インターネット売上・店舗数と売上)

● ネット売上推

(単位:百万円)

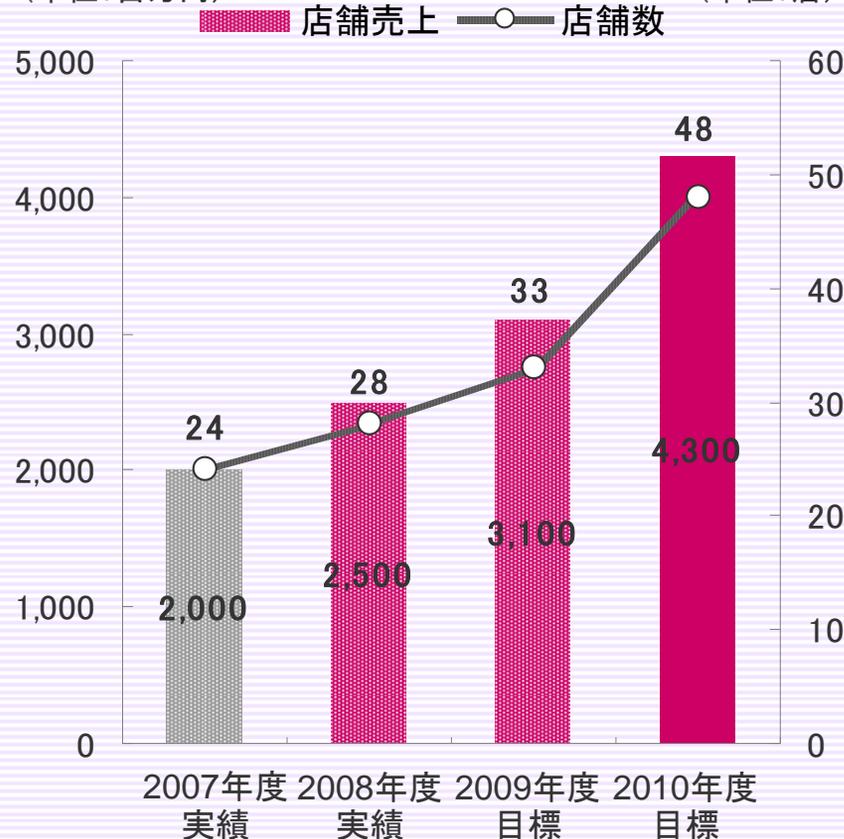


* カタログ経由: カタログを見てカタログ品番を入力することによる売上
 * 純ネット売上: 商品をカートに入れることによる売上

● 店舗数と売上推移

(単位:百万円)

(単位:店)



* 「暮らす服」ショップ今年度も順次開店予定

SCM強化(各指標状況)

物流変動費低減

売上原価率低減

	2007年度実績	改善度	2008年度実績
即時供給率	83.7%		78.1%
荷分れ率	131.7%		143.3%
輸入比率	71.2%		71.4%
内直取比率	20.0%		22.7%
在庫回転率	3.9回		4.6回
在庫金額(カタログ商品)	179億円		152億円

※即時供給率: 受注時に在庫があり、即時に出荷できる率

※荷分れ率: 出荷件数÷受注件数

※直取: 商社経由でない自社取引(SPA型)のこと

※在庫金額: カタログ商品の12月度末在庫金額

- 即時供給率及び荷分れ率は、今期在庫削減を優先課題としたため悪化。
- 輸入比率及び直取比率は引き続き増加傾向。
- 在庫金額については、順調に削減が行われている。分割納品による過剰入荷の抑制とカタログ期限終了後の即バーゲン販売により在庫回転率改善を図る。

● 連結棚卸資産

2007年末	193億	
2008年末	164億	

3. 2009年度連結業績予想

2009年度連結決算損益予想(対前年比較)

(単位:百万円)

	2008年度	売上比	2009年度	売上比	差額	対前年 増減率
売上高	158,285	-	162,500	-	+4,214	+2.7%
売上原価	81,999	51.8%	83,132	51.2%	+1,133	+1.4%
売上総利益	76,286	48.2%	79,367	48.8%	+3,080	+4.0%
販管費	73,960	46.7%	76,167	46.9%	+2,207	+3.0%
営業利益	2,326	1.5%	3,200	2.0%	+873	+37.5%
経常利益	△742	△0.5%	3,400	2.1%	+4,142	-
当期純利益	△6,754	△4.3%	2,750	1.7%	+9,504	-

■ 2008年度当期純利益は赤字となるも当初発表の配当を維持。2009年度も同じく17円を予定。

2009年度 利益好転要因

● 管理費低減

管理費の中で2008年度に一時的に悪化した費用等が解消

貸借料……………△1.3億円	備品消耗品…………… △1.2億円	
不動産取得税……△0.7億円	事業整理による改善…… △1.3億円	
その他……………△2.9億円		合計△7.4億円

● 媒体費削減

ネットへの更なるシフトとカタログ配布の効率化による。

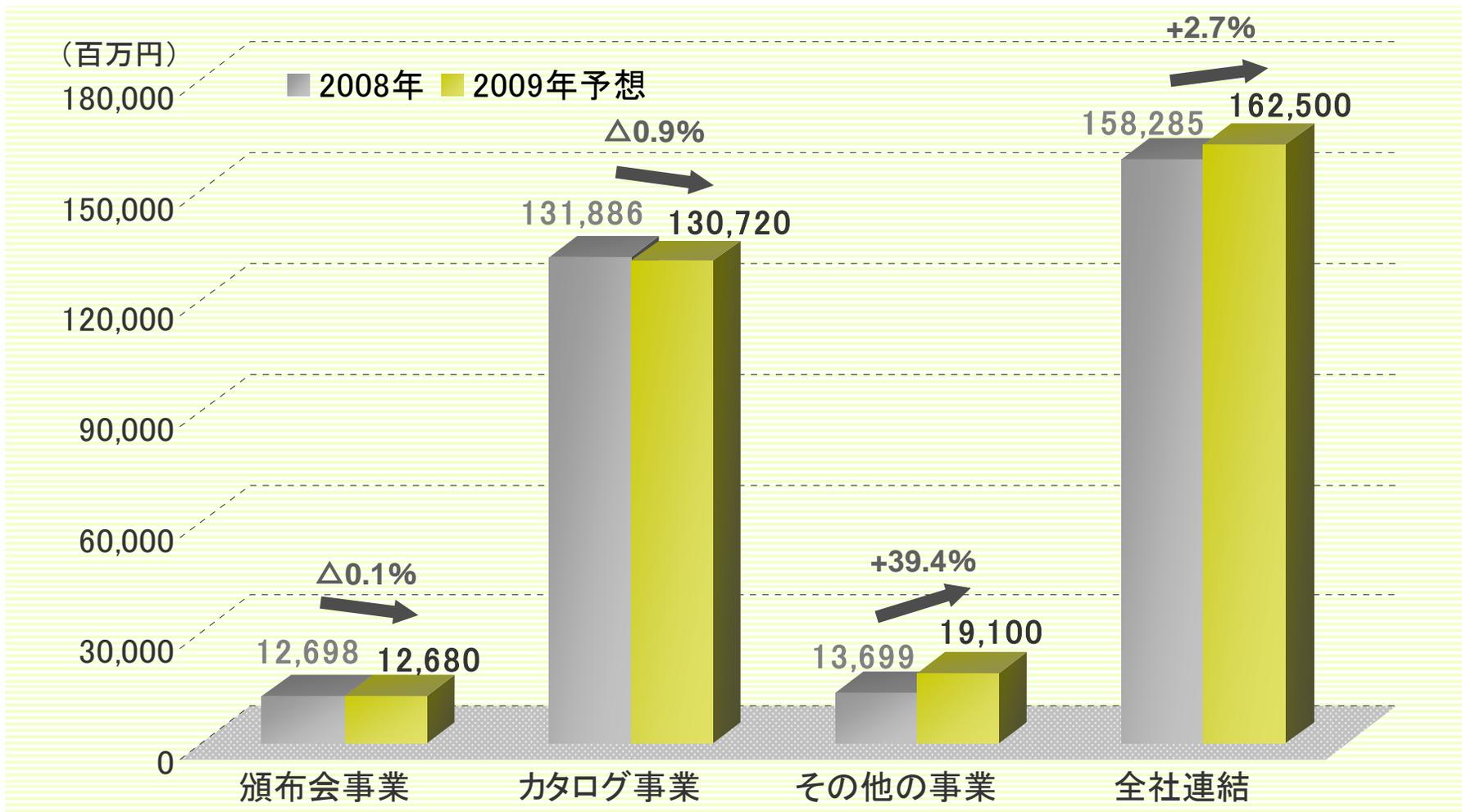
カタログ部数 2008年…9,500万部 ⇒ 2009年…8,750万
750万部減により、カタログ印刷費 約8.5億削

● 為替リスクの減

今後の為替予約については、一部は解約し予約金額を減らしているため
大幅な円高に振れない限り差損は発生しない見込み。

今後は長期予約を行わない方針。

2009年度セグメント別売上予想(対前年比較)

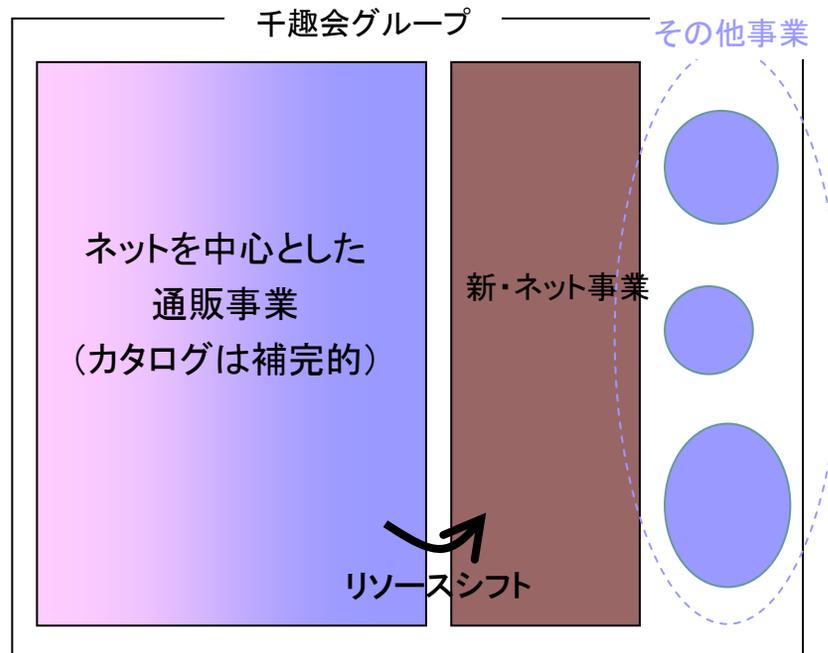


■ 頒布会事業及びカタログ事業はほぼ横ばい、その他の事業はディアーズブレインにより増加。

今後の成長の方向性

従来までの千趣会グループ

今後



千趣会 ≒ ベルメゾン

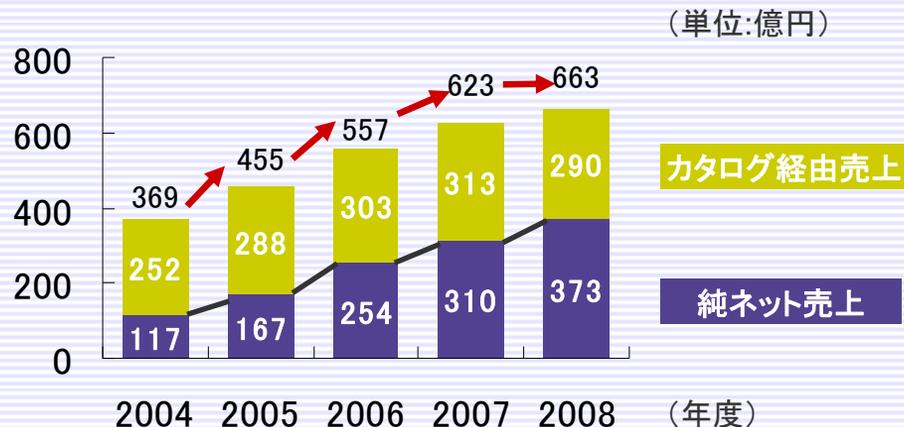
千趣会 = ベルメゾン + 新・ネット事業 + その他事業

- 市場環境の急激な悪化を受け、中計策定時の想定よりも、より速く、より大胆にネットにシフトし、事業構造を転換させる
 - ✓ 具体的には、ベルメゾンとは別のネットに特化した事業を早急に立上げ、既存事業から経営資源を大胆に移動する
 - ✓ 同時に、ベルメゾンはより一層ネットにシフトさせ、ネット中心の事業にしていく

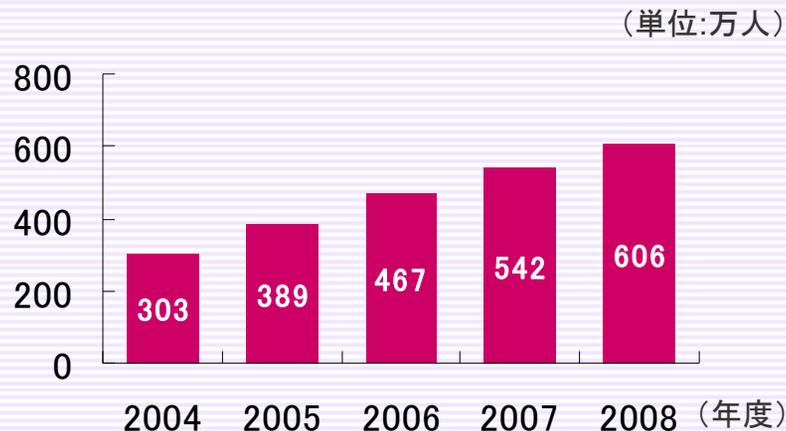
4. 参考資料

参考資料①～インターネット関連指標推移

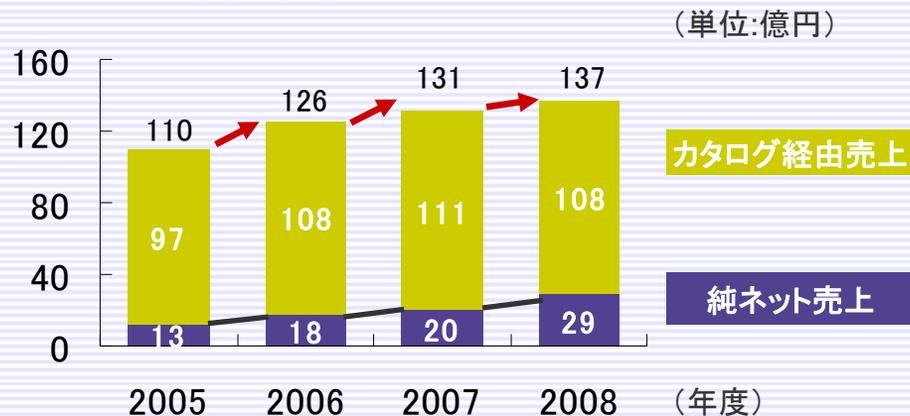
● インターネット売上推移(モバイルを含む)



● インターネット会員数



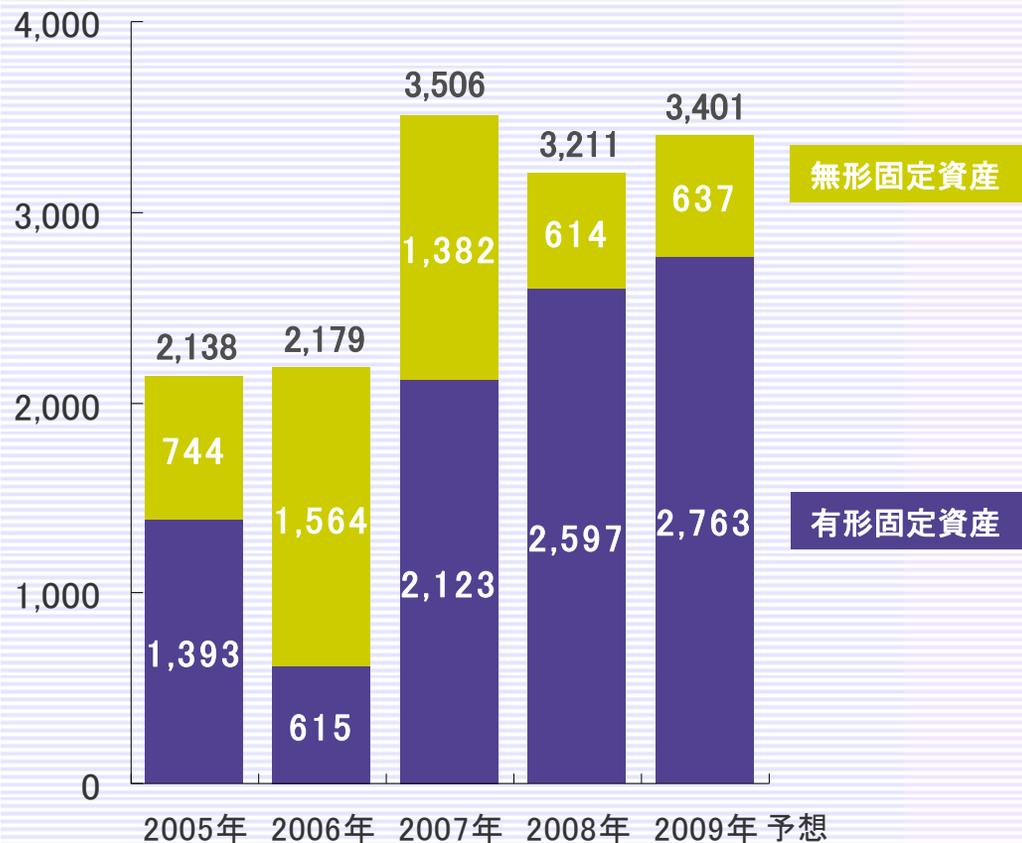
● 内モバイル売上推移



参考資料② ～設備投資額・減価償却費推移

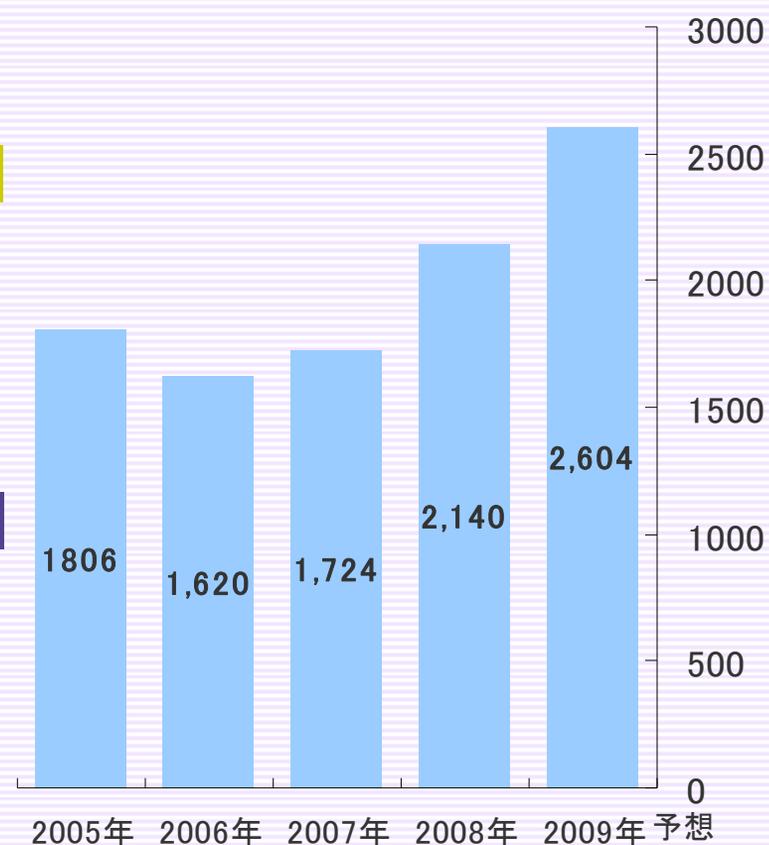
設備投資額

(単位:百万円)



減価償却費

(単位:百万円)



2009年度決算発表予定

- 4月24日 (金) 第1四半期決算発表
- 7月30日 (木) 第2四半期決算発表
- 7月31日 (金) 第2四半期決算説明会(東京)

- 10月23日 (金) 第3四半期決算発表

- 当決算説明会資料の記載内容のうち、将来予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。